

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	岩部 純子
主な担当科目	バレエ指導法演習③
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	1, 2年次は基礎力の強化、3, 4年次は更なる技術・表現力の向上を目標に、学生たち個々の技術レベルを鑑みつつ授業を行った。集団での授業ではあるが、個々との対話を心がけ学生のニーズを汲み取るよう試みた。
2022年の教育に関する自己評価	上級学年については概ね目標を達成できたと思う一方で、入学時のレベルの差が広がっている分、下級学年での授業のレベル設定が難しい。レベルに合わせた注意やアドバイスをなるべく細かくするようにした結果、クラス内でレベルが違っていても各々のモチベーションを維持させることが出来、全体のレベルアップにも繋がった。また卒業公演で古典作品に取り組ませることも学生の学修意欲を高めた。
2022年のFD活動に関する自己評価	積極的に参加し、特に各学内組織のFD研修会では意見等発信するように努めた。大学主催のFDでも学内組織のファシリテーターを務めたことが、大学での教員の立ち位置などを深く考える鍵にもなり学生たちへの接し方などに活かすことができた。
授業改善のために取り入れた研修内容	バレエコースにおいても学生が多様化しており、そのような学生への対応が難しくなっている。参加したほぼ全てのFD研修会取り上げられているテーマである「多様な学生」への接し方については、科目、コースが違う先生方の話を聞くことが出来る貴重な機会となっており、他の先生方の授業運用の仕方などを参考にしている。

科目名－クラス名

バレエ指導法演習③

曜日時限

木 3時限

担当教員

岩部 純子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	3～	通年	2	0	20	0	0	80	100

教育到達目標と概要

フランスの公教育に於けるバレエ指導法について、フランス文化通信省認定クラシックバレエ教師国家資格取得コースのメソッドを基に学んでいく。子どもの発達段階、及び解剖学に基づき、クラスの構築、音楽・ピアニストとの連携、指導法について学ぶことでバレエダンサー、指導者としての専門的知識を深めていく。各段階で先生役と生徒役に分かれてのティーチングの練習を行い、授業内小テストとする。

学修成果

バレエ用語を正しく理解し、レベルに応じたエクササイズ・アンシェヌマンの組み方、クラスの構築、音楽と動きの関係、ピアニストとの連携を理解し、実践できるようになる。

授業展開と内容

第1回	フランスに於けるバレエの公教育、指導者育成コースの概要について、フランスのバレエ用語
第2回	1e cycle ①8歳以上のクラスの構成 子どもの発達段階を理解する
第3回	1e cycle ②8歳以上のクラスの構成 解剖学的視点を持つ
第4回	1e cycle ③8歳以上のクラスの構成 音楽、ピアニストとの連携
第5回	1e cycle 1e année バレレッスン プリエ 3e annéeまでの発展
第6回	1e cycle 1e année バレレッスン デガジェ～ジュテ 3e annéeまでの発展
第7回	1e cycle 1e année バレレッスン ロン・ドウ・ジャンプ 3e annéeまでの発展
第8回	1e cycle 1e année バレレッスン その他 3e annéeまでの発展
第9回	1e cycle バレレッスン まとめ 授業内小テスト
第10回	1e cycle 1e année センターレッスン バレレッスンとの関係性 3e annéeまでの発展
第11回	1e cycle 1e année センターレッスン デガジェ、ポール・ド・ブラ 3e annéeまでの発展
第12回	1e cycle 1e année センターレッスン ジャンプ 3e annéeまでの発展
第13回	1e cycle 1e année センターレッスン 移動するステップ 3e annéeまでの発展
第14回	1e cycle 1e année センターレッスン コンビネーション 3e annéeまでの発展
第15回	2e cycle まとめ 授業内小テスト
第16回	2e cycle 11歳以上のクラス 1e cycle との違い
第17回	2e cycle 1～3e année バレレッスン プリエ
第18回	2e cycle 1～3e année バレレッスン デガジェ～ジュテ
第19回	2e cycle 1～3e année バレレッスン ロン・ドウ・ジャンプ、フォンデュ
第20回	2e cycle 1～3e année バレレッスン アダジオ、グラン・バトマン
第21回	2e cycle 1～3e année センターレッスン デガジェ、ポール・ド・ブラ、アダジオ
第22回	2e cycle バレレッスン まとめ 授業内小テスト
第23回	2e cycle 1～3e année センターレッスン バレレッスンとの関係性
第24回	2e cycle 1～3e année センターレッスン デガジェ、アダジオ
第25回	2e cycle 1～3e année センターレッスン 回転、ジャンプ
第26回	2e cycle 1～3e année センターレッスン 移動するステップ
第27回	2e cycle 1～3e année センターレッスン コンビネーション
第28回	2e cycle まとめ 授業内小テスト
第29回	Eveil/Initiation 6～7歳のクラスの構成 子どもの発達段階、解剖学的特徴を理解する
第30回	総まとめ 課題提出

履修上の注意

バレエレッスンに準じた服装で受講のこと。十分なウォームアップをしておく事が望ましい。ほぼ毎回の授業で各々がエクササイズやクラス構成を考え、より実践に近い形でシミュレーションを行う。積極的な授業への参加が求められる。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

毎回出される課題に沿って、2人から数人でのグループワークを行い発表、それについてのディスカッションを行うアクティブラーニングである。発表に対するフィードバックはその都度行っていく。毎回の授業の要点等をノートにまとめ整理（15分程度）、次の課題に備えてアンシェヌマンを考えるなど（30分程度）、事前準備を怠らないこと。積極的に様々なレベルのバレエクラスの見学などを行うこと。

教科書・参考書

必要に応じてプリントを配付する。

2022年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：2634 教員名：岩部 純子

1) 評価結果に対する所見

どの設問についても概ね「そう思う」「少し思う」の評価となっており、バレエの実技授業については個人授業ではないものの、個々のレベルに応じた指導が学生の満足度につながっていると思われる。一方で予習復習に関しては少し評価が低くなっており、学生任せではなくどのような方法で予習復習をすればよいかといった指導が必要だと感じた。

2) 要望への対応・改善方策

アンケート内では特に要望等はなかったが、引き続き個々のレベルに合わせたきめ細かい指導に努め、全体のレベルアップに繋げていきたい。ただ言われたことをこなすだけでなく、学生個々が自分の弱点を向き合い、しっかりと考えられる授業を目指す。

3) 今後の課題

集団で行う授業であるため、授業内でのレベル差の拡大が授業運用を難しくしている面がある。既にある程度の技術を修得している学生が退屈せず、また授業についていけないと感じる学生を生み出さないような授業を行うこと課題である。

以 上